

# 株主の皆様へ

## 第61期 中間期のご報告

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



ミシン糸の総合メーカー

株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第61期中間期（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）における営業の概況と決算につきまして下記の通りご報告申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長

藤井一郎

## 中間期の概要（連結） 消費マインドの低迷や生活防衛意識の高まりから、縫い糸市場は、日本・中国共にかつてない厳しい環境に陥り、大幅な売上減少と損失を計上することとなりました。

当中間期におけるわが国経済は、自動車産業など、在庫調整による生産の回復傾向や、エコカー減税、エコポイント制度の実施などによる消費刺激効果も一部見られたものの、雇用情勢や所得環境は依然厳しく、先行きの不透明感から、節約志向や低価格志向など、引き続き消費者の生活防衛意識は高く、景気の回復は感じられません。

縫い糸市場におきましては、消費マインド低迷の影響を受け、引き続き手作り手芸分野も低調であったほか、日本向け衣料品は、一部を除いては、依然生産調整が顕著な上に、消費者の志向を睨んだ衣料品の低価格化傾向が一段と強まるなど、縫製業や縫製副資材関連業は極めて厳しい事業環境が続きました。

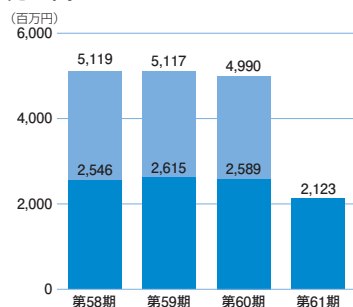
このような状況のなか、当社グループは、引き続き中期の経営課題に沿って、競争力の強化とシェアの拡大、国内市場におけるホビー分野の需要の掘り起こしなどに努めたほか、中国においては、営業体制の整備などに努めてまいりました。しかしながら上述の通り、当社を取り巻く環境はあまりにも厳しく、縫い糸の受注状況は、日本・中国共にかつてない厳しい状況となりました。

これらの結果、当中間期の売上高は、2,123百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

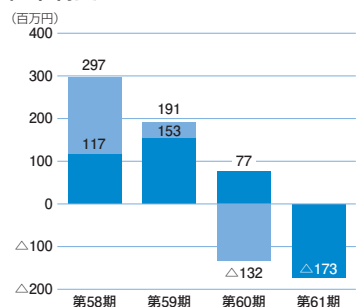
また利益面では、大幅な売上高の落ち込みや、国内生産拠点の移転統合に伴う償却費の増加による売上総利益の減少や、受取利息、受取配当金の減少、中国子会社で発生した為替変動による影響、及び貸倒引当金の増加などの減益要因により、営業損失は、152百万円（前年同期は37百万円の営業利益）、経常損失は、173百万円（前年同期は77百万円の経常利益）、中間純損失は、191百万円（前年同期は3百万円の純利益）となりました。

## 財務ハイライト

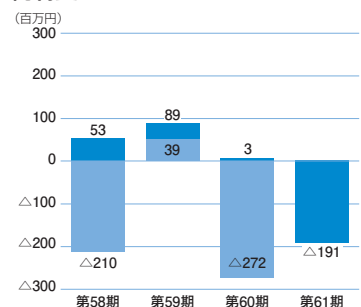
### 売上高



### 経常利益



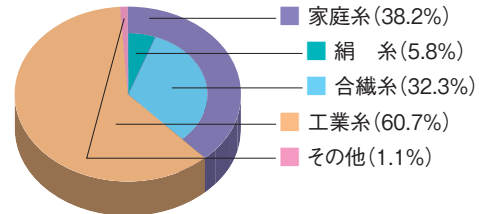
### 純利益



## 部門別売上高（連結）

部 門		金 額
家 庭 糸	絹 糸	123百万円
	合 織 糸	686百万円
小 計		810百万円
工 業 糸	合 織 糸	1,288百万円
そ の 他	原材料及び半製品	23百万円
合 計		2,123百万円

## 売上比率



### 家庭糸部門

当社グループは、中長期的な事業環境を踏まえて、引き続き国内市場における需要の掘り起こしのための提案や販売促進活動に努めるとともに、中国・上海におけるパッチワークキルト店において啓蒙活動を続けるなど国内外での活動を継続しております。しかしながら先行きの不透明感から、消費者の節約志向や低価格志向など、生活防衛意識は依然高く、新型インフルエンザの影響などもあり、手作り手芸分野は、全般に低調に推移しました。

加えて、前年9月には、およそ20年ぶりの当社製品価格改正に対する流通段階の駆け込み需要が相当量発生したこともあって、当部門の売上高は、810百万円（前年同期比16.1%減）となり、前年同期と比較すると大幅な落ち込みとなりました。

### 工業糸部門

消費マインドの低迷から、日本の衣料品は、一部を除いて売れ行き不振が続き、日本、中国共に生産の調整が顕著であることに加え、消費者の志向を睨んだ低価格化傾向が強まり、数量減と価格下落の影響を受ける縫製業や縫製副資材関連業は、極めて厳しい環境が続いております。

当社グループは、機能性の高い商品として、昨年発売の消臭機能を備えたミシン糸「ムッシュ」に続き、スーパーストレッチ性を持つミシン糸「RSS50」を発売し、市場の高いニーズに応えつつ、日中両市場において、シェア拡大のための営業努力を継続しておりますが、日本向け衣料品が主である当社グループの縫い糸の受注状況は、かつてない厳しい状況となりました。

この結果、当部門の売上高は、1,288百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

### その他部門

当部門は、半製品や手芸関連商品の販売が主なものですが、中国子会社での手芸関連商品の輸出が増加したことから、当部門の売上高は、23百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

## 今後の見通しと当社グループが取り組むべき課題

縫製業や縫製副資材関連業は、極めて厳しい状況が続くと思われませんが、中長期的な事業環境を見据えて、新たな子会社との連携も含め、全力で諸課題に取り組み、業績の回復を目指します。

国内の景気は、当面は回復感のない不透明な状況が続くものと思われ、消費マインドの回復は期待できません。とりわけ日本向け衣料品の消費と生産の現状から、縫製業や縫製副資材関連業は、極めて厳しい状況が続くと思われ、今後は業界内において、さらなる淘汰や再編が進むことが予想されます。

このように短期的には、極めて厳しい事業環境が予想されるものの、中長期的な事業環境について当社グループは次のように考えております。

- ① ライフスタイルの多様化などにより、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要は近年漸減傾向が続いてきたものの、その一方、高齢化や格差社会を背景に、「ゆとり」や「和み」、あるいは個性化に伴う「オリジナリティー」が見直されつつある中で、中長期的にはソーイングを始めとする手作りホビーの潜在需要の掘り起こしにより、国内の家庭用縫い糸の需要増加が期待できる。
- ② 欧米の既存の手作りホビー市場における当社のマーケットシェアがまだ極めて低いことや、経済と生活文化の発展が著しい中国大都市部や東南アジア諸国における手作りホビー需要の増加が期待できることから、為替相場の影響は受けるものの家庭用縫い糸の海外市場における販売拡大が可能である。
- ③ 世界の縫製基地となった中国における工業用縫い糸の販売拡大の余地は言うまでもなく、海外への生産移転で縮小を余儀なくされている国内の工業用縫い糸市場においても、競争力の強化によりシェア拡大による販売増加が実現可能である。
- ④ 工業用縫い糸については、縫製副資材としての性格上、安価で、しかも縫製時にタイムリーに供給されることが要求されるため、世界的に見ても縫製地の移行とともに労働コストの安価な縫製産地の近辺にその生産が移りつつあるが、高付加価値、高機能な縫い糸の生産や、国内における徹底した供給サービスの向上には、国内工場の活用が今後も不可欠である。

以上から、当社グループは中長期的には業績の回復と新たな成長は十分可能であり、これらを実現するために下記の課題に取り組んでおります。

- ① 引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、生産や物流システムの更なる改善により、コストダウンと納期短縮を始めとするサービスの向上を徹底し、競争力の強化を図ること。
- ② 中国の連結子会社における製造・販売の強化及び当社との連携強化により、世界の縫製基地となった中国縫製市場の開拓を一層推し進めること。

- ③ 受注の減少傾向を余儀なくされてきた国内市場においては、従来の戦略の見直しを図り、家庭用、工業用ともにさらなるシェア拡大を図ること。
- ④ 手作りホビーの国内市場に対して潜在需要の掘り起こしのための提案を継続して、新たな需要の創出に努めるとともに、海外の手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- ⑤ 業界のリーディングカンパニーを目指すべく、経営体質の強化及び人材の育成と活性化を図ること。
- ⑥ 社会的信頼の維持はもちろん、環境負荷の軽減を始め、企業としての社会的責任を果たすこと。

なお、上述の課題の一つである「国内市場におけるシェアの拡大」を目的の一つとして、当社グループは、本年9月に新たに当社100%出資の株式会社FTCを設立して、10月1日をもって東洋紡ミシン糸株式会社より縫い糸（ミシン糸）事業を同社が譲受けると共に、10月10日には、秋田県に本店を置く糸卸商 株式会社シオンの発行済株式の100%を取得し、子会社といたしました。

これらの新たな国内連結子会社を活用し、製造・販売両面においてシナジー効果を発揮させ、国内での販売シェアを高めるなど、上述の諸課題に全力で取り組み、グループとしての業績の回復を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成21年3月31日現在)	科 目	当中間連結会計期間末 (平成21年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	5,995,465	5,669,150	流動負債	561,615	667,241
現金及び預金	2,712,810	2,237,013	支払手形及び買掛金	186,123	171,660
受取手形及び売掛金	1,027,732	1,232,134	短期借入金	61,391	57,730
商品及び製品	1,055,434	1,090,239	未払法人税等	7,094	7,814
仕掛品	766,946	676,126	賞与引当金	63,651	69,664
原材料及び貯蔵品	367,186	361,682	その他	243,353	360,371
その他	74,575	85,106	固定負債	297,536	308,818
貸倒引当金	△ 9,220	△ 13,152	退職給付引当金	1,992	2,362
固定資産	3,519,532	4,173,347	役員退職慰労引当金	131,480	123,680
有形固定資産	1,849,752	1,940,719	その他	164,063	182,776
無形固定資産	70,611	97,693	負債合計	859,152	976,059
投資その他の資産	1,599,168	2,134,934	(純資産の部)		
投資有価証券	878,595	878,875	株主資本	8,109,871	8,385,497
その他	862,527	1,367,954	資本金	923,325	923,325
貸倒引当金	△ 141,955	△ 111,895	資本剰余金	758,014	758,014
資産合計	9,514,998	9,842,498	利益剰余金	6,533,925	6,809,445
			自己株式	△ 105,392	△ 105,286
			評価・換算差額等	200,222	151,070
			その他有価証券評価差額金	155,961	179,777
			為替換算調整勘定	44,260	△ 28,707
			少数株主持分	345,751	329,869
			純資産合計	8,655,845	8,866,438
			負債・純資産合計	9,514,998	9,842,498

## 連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		前中間連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
	売 上 高	2,123,003	2,589,089	
売 上 原 価	1,534,055	1,807,017		
売 上 総 利 益	588,948	782,072		
販売費及び一般管理費	741,286	744,580		
営業利益 (△は損失)	△ 152,338	37,491		
営業外収益	25,224	46,043		
営業外費用	46,577	6,367		
経常利益 (△は損失)	△ 173,692	77,167		
特別利益	4,317	2,161		
特別損失	1,019	26,358		
税金等調整前中間純利益 (△は損失)	△ 170,394	52,969		
法人税、住民税及び事業税	7,639	6,418		
法人税等調整額	12,453	10,816		
少数株主利益	813	32,732		
中間純利益 (△は損失)	△ 191,300	3,003		

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		前中間連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
	営業活動によるキャッシュ・フロー	144,316	50,615	
投資活動によるキャッシュ・フロー	502,211	58,531		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 88,880	△ 116,550		
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,829	△ 11,654		
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少額)	575,477	△ 19,057		
現金及び現金同等物の期首残高	1,637,013	1,387,156		
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,212,490	1,368,099		

## 連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	株 主 資 本				評価・換算差額等				少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成21年3月31日残高	923,325	758,014	6,809,445	△ 105,286	8,385,497	179,777	△ 28,707	151,070	329,869	8,866,438
中間連結累計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 78,805		△ 78,805					△ 78,805
従業員奨励及び福利基金繰入額			△ 5,414		△ 5,414					△ 5,414
中間純利益 (△は損失)			△ 191,300		△ 191,300					△ 191,300
自己株式の取得				△ 106	△ 106					△ 106
株主資本以外の項目の 中間連結累計期間中の変動額 (純額)						△ 23,816	72,967	49,151	15,881	65,033
中間連結累計期間中の変動額合計			△ 275,519	△ 106	△ 275,625	△ 23,816	72,967	49,151	15,881	△ 210,592
平成21年9月30日残高	923,325	758,014	6,533,925	△ 105,392	8,109,871	155,961	44,260	200,222	345,751	8,655,845

# 会社の概要

(平成21年9月30日現在)

## 事業内容

当社グループは、アパレル縫製用及びホームソーイングを始めとする手作りホビー用の縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売も行っております。

創 業	大正10年（1921年）3月
設 立	昭和25年（1950年）1月
資 本 金	923,325,000円
従 業 員 数	157名 *出向者4名、パート14名を含む（連結358名）
事 業 所	

本社	管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部・物流センター	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流センター	滋賀県東近江市

## 連結対象子会社

株式会社FTC	（京都市）
上海富士克制線有限公司	（上海）
上海富士克貿易有限公司	（上海）
富士克國際（香港）有限公司	（香港）
上海新富士克制線有限公司	（上海 大連 南通 広東 南京 寧波 青島 北京）

\*株式会社FTC（出資比率100%）は平成21年9月7日に設立いたしました。同10月1日、同社は東洋紡績株式会社の連結子会社である東洋紡ミシン糸株式会社の縫い糸（ミシン糸）事業を譲受けました。

# 役員

(平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	藤井 一郎	
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長
取締役	森川 幸俊	生産部長
取締役	山本 和良	管理部長
常勤監査役	高橋 篤	
監査役（社外）	工藤 雅史	弁護士
監査役（社外）	中村 利雄	弁護士

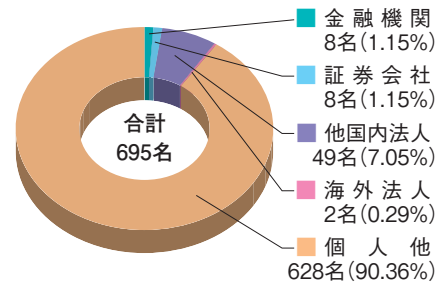


# 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数 19,945,000株  
 発行済株式の総数 7,340,465株  
 株主数 695名  
 大株主

株主名	持株数	出資比率
藤井幸二	725千株	10.52%
藤井多鶴子	717	10.40
藤井眞津子	391	5.67
小原京子	382	5.54
森本町子	328	4.76
鈴木直子	328	4.76
藤井一郎	293	4.25
藤井太郎	200	2.90
三井住友銀行	184	2.68
フジックス社員持株会	183	2.66

株式分布状況



(注) 当社は、自己株式445千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会 毎年6月  
 単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 住友信託銀行株式会社  
 及び特別口座の口座管理機関  
 株主名簿管理人 〒540—8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
 事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 郵便物の送付先 〒183—8701 東京都府中市日鋼町1番10  
 及び照会先 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 (電話照会先) 電話 0120—176—417  
 (URL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>  
 公告方法 電子公告としております。  
 公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

証券銘柄コード 3600

# 最近のトピックス

## ●国内に新たに連結子会社2社が誕生

平成21年9月、当社100%出資の子会社である株式会社FTCを設立致しました。(資本金100百万円)株式会社FTCは、東洋紡績株式会社の子会社である東洋紡ミシン糸株式会社の縫い糸(ミシン糸)事業を譲受け、主に衣料用、産業資材用ミシン糸を製造し販売いたします。これらにより、フジックスグループとしての製品群の拡充や海外生産の活用によるコストダウン等、事業拡充のシナジー効果により事業競争力の更なる向上を図って参ります。

### 株式会社FTCの概況

事業内容：ミシン糸並びにその原糸の製造販売他  
本 社：大阪市中央区(実質本社)  
登記本社：京都市北区  
拠 点：東京 三重 岐阜 福井  
資 本 金：100百万円  
従業員数：52名(10月1日現在)

平成21年10月、秋田県横手市に本店を置く縫い糸卸商である株式会社シオンの全株式を取得し子会社とし、また、同社が実施した株主割当増資を当社が引き受け、資本金を100百万円と致しました。

東北地区を地盤とする同社を子会社化することにより、エンドユーザーに対する供給の利便性・安定性を高め、事業競争力を強化し、販売シェアの拡大を図ってまいります。

### 株式会社シオンの概況

事業内容：ミシン糸の販売他  
本 社：秋田県横手市  
拠 点：青森 山形  
資 本 金：100百万円  
従業員数：14名(10月10日現在)

## ●新商品 **ASS50** を発売

弊社とオペロンテックス株式会社(東京都中央区)の共同開発で、可縫性に優れたスーパーストレッチミシン糸 **ASS50** を発売致しました。**ASS50** は、ファブリックへの伸縮追随性と可縫性を兼ね備え、近年増加しつつあるストレッチ素材を使用したアパレル製品に最適なスーパーストレッチミシン糸です。

\*本製品の開発で確立された技術については、現在特許出願中です。



## ●シルクスレッドアート (STA) 講師認定講座を開設

シルクスレッドアート講師資格は、文部科学省許可の財団法人日本余暇文化振興会の認定資格となりました。第一回講師養成講座を8月に東京、名古屋、大阪の3か所で開催し、資格認定者は全国各地で教室を展開され、シルクスレッドアートの普及に努めて頂いております。



# フジックスグループNetwork

★ 営業部門

● 生産部門



喜楽多拼布店 (キルトショップ)

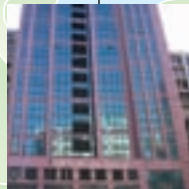


上海富士克制線有限公司



上海新富士克制線有限公司

大連分公司  
南通事務所  
広東事務所  
南京事務所  
寧波事務所  
青島事務所  
北京事務所



富士克國際 (香港) 有限公司

★ 北京

★ 大連

★ 青島

★ 南京

★ 南通

● 上海

★ 寧波

★ 広東

★ 香港



東京支店

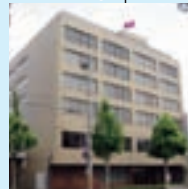
★ 横手

★ 東京

★ 京都

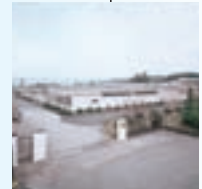
● 滋賀

株式会社シオン  
(平成21年10月子会社化)

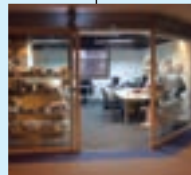


本社

株式会社FTC  
(平成21年9月設立)



滋賀事業所 (工場・物流センター)



上海富士克貿易有限公司

### ホームページのご案内

財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、製品情報、様々なアイテムの簡単な作り方を紹介する「かんたんソーイングレシピ」、糸の種類や選び方をわかりやすく解説する「糸の基礎知識」など様々なコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。

<http://www.fjx.co.jp/>



できるよ.comは会員制のコミュニティーサイトで、会員同士の情報交換や自分の作品を掲載できるページ、また、初心者でも簡単に様々なアイテムが作れる“手作りお助けソフト「Fデザイン」”を無料でダウンロードできます。会員の皆様には、京都の観光・グルメ情報など「京都よもやま通信」をメール配信しております。

<http://www.dekiruyo.com/>

